比島大学 HIROSHIMA UNIVERSITY

環境研究の最前線 Oct. 19, 2016

微細アスベストを迅速に検知できる タブレット蛍光顕微鏡の開発

黒田章夫

広島大学 大学院先端物質科学研究科

発表の

発表の内容

- 1、残されるアスベストリスク
- 2、蛍光顕微鏡とは
- 3、アスベストの蛍光プローブ
- 4、アスベスト蛍光検査と従来技術との相関性
- 5、タブレット蛍光顕微鏡の開発と有効性検証

残されるアスベストリスク ・日本の使用量のピークは70 ~90年代前半(米国の20年 遅れ) ・アスベスト含有建材の量は 約4000万トン(アスベスト540万トン)。

- ・今後古い建物の解体で2035年頃 まで毎年100万トン以上のアスベ スト含有建材が排出。
- ・アスベストの飛散をモニターしないと、アスベスト問題の再燃(解体現場でのアスベストリスク)。



















